



ごみ収集車の 車両火災が 多発しています



昨年度、中身が入ったまま「燃えないごみ」として出されたガスカートリッジ缶・スプレー缶が原因とみられる、ごみ収集車の車両火災事故が4件も起きています。

幸いこれらの事故による負傷者は出ませんでした。人命にかかわる重大事故につながるおそれがあります。毎年、同様の事故が起きていて、歩行者や付近の住民、収集員はたいへん危険です。



**守って
ください**

ガスカートリッジ缶・ スプレー缶の出し方

他の燃えないごみとは別の袋に入れる（袋に「スプレー缶」または「ガスカートリッジ缶」と書き、燃えないごみの目に出す）

① **中身を全部使い切る**



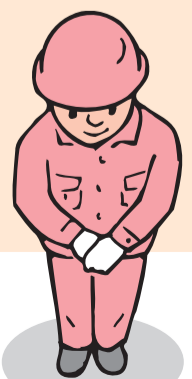
② **穴を開ける**（風通しの良い、火の気のない屋外で、穴を開けてください）



清掃工場(小平・村山・大和衛生組合)でも爆発事故が発生

清掃工場でも、^{はさい}破砕（燃えないごみや粗大ごみを処理する）施設の爆発事故が発生しました。この時は、ごみの処理に遅れが生じたばかりでなく、約3千万円もの修繕費用がかかりました。

このようなことは、皆さんひとりひとりがごみ出しのルールを守っていただくことで防ぐことができます。皆さんのご協力をお願いします。



お願いします

問合せ **ごみ減量対策課**

☎042 (346) 9535